

第3章 研究報告

1 研究体系（平成26年度）

区分	No.	研究課題	研究年度	県施策項目	共同研究機関	担当部
健康危機管理時の対応力向上に資する調査研究の推進	1	ノロウイルス検出感度向上に関する研究	25-26	食の安全・安心の確保		保健科学部
	2	食品中の放射性物質測定に関する研究	26-28			衛生科学部
	3	マダニ媒介性感染症に関する基礎研究	25-27	地域の保健医療体制の確立		保健科学部
	4	薬剤耐性菌に関する研究	26-27			
	5	岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究	26-27			
行政課題・地域課題解決に向けた調査研究の推進	6	ウイルス媒介性節足動物の生息に関する研究	25-26	地球温暖化対策の推進		地球科学部
	7	WET手法を用いた水環境調査のケーススタディ	26-27	多様で豊かな環境の保全	国立環境研究所ほか	環境科学部
	8	微小粒子状物質の発生源解明に関する研究	26-28			地球科学部
9	酸性雨による環境影響の総合的評価	25-26		全国環境研究協議会北海道・東北支部酸性雨専門部会		
高度な分析機器を用いた新たな検査・分析法の開発	10	食品中有害化学物質検査の精度管理体制の強化及び検証	25-27	食の安全・安心の確保		衛生科学部
	11	食品機能性成分カロテノイド（ルテイン等）の一斉分析法の開発	26-27		農業研究センター 県北農業研究所	
	12	機器分析法を用いた貝毒検査に関する研究	26-27			
	13	腸管出血性大腸菌(EHEC)の検査法に関する研究	25-27		検査部	
	14	有機フッ素化合物に係る日中韓汚染状況比較及び生体影響解明等に関する研究	26-28	多様で豊かな環境の保全	EPA、京都大学、大連理工大学、岩手大学、釜慶大学	環境科学部
	15	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質県内環境実態調査	25-26			
16	LC-MS/MSによるDNAアダクトームの解析	25-27		八戸高専、岩手大学、日本獣医生命大学		
本県の豊かな自然環境の保全に資する調査研究の推進	17	希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究	24-28	多様で豊かな環境の保全		地球科学部
	18	イヌワシ個体群の生態的特性および遺伝的構造に関する研究	23-27		東北鳥類研究所、京都大学、盛岡市動物公園、三陸中部森林管理署、環境省猛禽類保護センター	
	19	ヘア・トラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発	24-28			
	20	ニホンジカの個体数推定と将来予測に関する基礎的研究	26-28		国立環境研究所	
計	20テーマ					